

# 時習館同窓会教育基金を設立

## 年間1千万円拠出

### 在校生や卒業生らの進学や留学など支援 他校からの留学も対象

県立時習館高校(森島日出夫校長)の卒業生でつくる時習館同窓会(小池高弘会長)は、一般財団法人「時習館同窓会教育基金」を立ち上げ、同校在校生や卒業生らの進学、留学などを支援する奨学金事業を始めた。年間約1千万円を拠出し、他校からの留学も含めて支援する計画。支援を広げるため、同窓生らに寄付の協力を呼びかけている。

### 当面は「赤字覚悟」寄付募る

基金は昨年10月に設立され、理事長には、同校卒業生で自動車部品メーカー「ジェイテクト」の元社長、安形哲夫氏が就任。16日、豊橋市富本町の同校で会見を開いた。

基金の設立は、卒業生の1人から高額寄付の申し出があったことがきっかけで、同窓会と卒業50周年・25周年の卒業生からの寄付を加えた約1億円で運用を始める。奨学金は返済義務のない給付型で、同校が行っている海外研修や在校生の奨学、卒業生の大学(院)進学、海外留学などが対象。海外留学は同校だけでなく、他校の生徒

(石川正司)

支援を実施。今後は同窓生を中心に寄付を募り、公益法人に改組して財政基盤を強化していく方針を示した。安形氏によると、全国の公立校

で公益財団法人化した基金を持つのは12校ある。

時習館高校では現在、イギリス、ドイツ、マレーシアにある4校と姉妹校提携を結んで海外研修を実施。県のあいichgローバル・ハイスク

ールや国のスーパーサイエンス・ハイスクールの指定を受けており、新型コロナウイルスの影響による中断はあったものの、姉妹校間で生徒の相互派遣を行ってきた。

会見に同席した小池会長は「県内でも一番進んでいる」と同校の国際交流を高く評価。森島校長は「このような基金は他校の例は少ない。生徒に目を向けて頂いていることに感謝

する」と同窓会への謝意を表した。奨学金に関する詳細は、同窓会ホームページを参照。寄付等の問い合わせは、同基金理事・小野喜明氏(トヨタテック内)へ電話05333(85)1110、またはメール(ano.y@tono-circle.co.jp)まで。



左から小池会長、安形理事長、森島校長(時習館高校で)

基金の設立は、卒業生の1人から高額寄付の申し出があったことがきっかけで、同窓会と卒業50周年・25周年の卒業生からの寄付を加えた約1億円で運用を始める。奨学金は返済義務のない給付型で、同校が行っている海外研修や在校生の奨学、卒業生の大学(院)進学、海外留学などが対象。海外留学は同校だけでなく、他校の生徒



# 海外留学など支援へ

豊橋の時習館高  
同窓会教育基金

## 奨学金事業をスタート

他校や卒業生も

昨年創設された一般財団法人「時習館同窓会教育基金」（安形哲夫理事長）は16日、初年度事業の一つとして奨学金事業をスタートさせた。県立時習館高校の在校生3人に年間各24万円の支給を決めた。

同窓会が昨年10月に設立した。英国、ドイツ、マレーシアの姉妹校との海外交流などを支援している。卒業25年目と50年目を迎える同窓会メンバーやPTAからの寄付を大きな助けとしている。基金は支援の受け手をはつきりさせ、基盤を作りたいとの思いから設立した。将来は公益財団法人化を掲げている。

基金は今後も奨学金事業を続ける。海外研修事業、海外留学、大学進学などを支援していく。海外留学生は日本全体で留学生を増やすため、他校

の卒業生や在校生も広く支援していく方針。予算は全体で年間約1000万円を見込む。

安形理事長は、留学費用が年々高額になっていくことから一般家庭だけで支えることは難しいと指摘。重要な海外留学のため「実績を重ねて基盤

を作り、篤志家から支援を募って好循環を作りたい」と語った。



左から小池高弘同窓会長、安形理事長、森島日出夫校長＝時習館高校で

基金は有志からの寄付や、支援を求める若者を募っている。問い合わせは同窓会（0533・85・1110、トヨタテック内）かホームページ（QRコード）へ。【岸侑輝】